

平成 24 年度 食 品 安 全 委 員 会 緊 急 時 対 応 訓 練 の 骨 子

平成 24 年 4 月 12 日
緊急時対応訓練準備事務局決定

実務研修と確認訓練の 2 本立てによる体系的な訓練設計にするとともに、効果的かつ効率的な訓練となるよう、開催時期、開催回数、訓練対象者、訓練方法等を工夫して行う。

	実 務 研 修				確 認 訓 練	総 括 会 議
訓練形式	研修・講習会				シナリオ非提示の実動訓練	—
名 称	緊急時対応手順研修	ホームページ掲載研修	メディア対応研修		確認訓練	総括会議
目 的	緊急時における初動対応と国民に対する迅速かつ的確な情報提供を行うための組織能力の向上					組織の対応能力の確認と緊急時対応マニュアル等の実効性の向上
目 標	緊急時対応手順の理解(特に初動対応)	ホームページへの情報掲載技術の習得	わかりやすく誤解を与えない資料作成に係る基礎的な技術の習得	わかりやすく誤解を与えない資料作成技術や説明・応答技術の習得	緊急時における組織対応能力の強化と対応手順の改善点の確認	課題抽出と改善案の検討
実施時期	4 月	4 月、1 0 月	8 月～9 月	1 0 月	1 1 月	1 1 月
対象者	全課の事務局職員 (人事異動による転入者を中心)	全課の課長補佐以下の事務局職員 (転入者を中心)	全課の課長補佐以下の全事務局職員	委員及び全課の事務局職員	委員及び関係事務局職員(対象外の職員には、ホワイトボードに時系列で事態経過を掲示)	委員及び事務局職員(確認訓練参加者を中心)
実施内容	・「緊急時対応手順書」に基づく緊急時の対応手順について研修する。 ・事務局内の「新規着任者研修」の一講座に位置づけて実施する。	・「緊急時対応ホームページ掲載マニュアル」に基づいてホームページへの情報掲載作業を試行する。	・資料作成の基本的なポイントについて学ぶための自習研修を複数回実施する。	・資料作成と記者会見の実践訓練を行う。 ・メディア対応の専門家等から指導を受ける。	・関係省庁との連携も想定した仮想シナリオ(非提示)に基づき、緊急時対応の一連の手順を実動で訓練する。 ・訓練中の方針決定等の判断は訓練参加者が状況に応じて判断する。 ・訓練を通じて、左記の実務研修で得られた基本的な緊急時対応技術の習得レベルを確認する。	・訓練結果の検証と、緊急時対応及び訓練運営に係る課題の抽出を行い、改善に向けた対応案を検討する。
所要時間	0. 5 時間	1 時間／回	10 分程度／回	3 時間	1 日 (業務時間内)	2 時間